

# BRAVE・LOVE・DREAM 「勇気・愛・夢」をテーマに 世界の子どもをつなぐ遊園地を

BLDオリエンタル(株) 「遊キッズ愛ランド」

BLDオリエンタル(株)  
代表取締役社長  
越智やすし氏



オリジナルの室内遊具を使った室内遊園地「遊キッズ愛ランド」を展開するBLDオリエンタル(株)は、わずか4年で国内約170施設、海外20施設にまでその数を拡大。台湾、韓国など、海外への進出も活発化している。その事業「コンセプトや、今後の展開について、代表取締役越智やすし氏に伺った。

## 遊具の企画、設計、製作まで すべてオリジナルで提案

「まず、キッズ業界への参入のきっかけから伺えますか。」

**越智** あるとき自分自身の子どもの笑顔を見てこれこそが宝物だなと感じ、商売抜きに子どもたちを喜ばせる仕事があったと思ったのがはじまりです。子どもたちが輝く場をつくりたくて、そのために必要なものとして、愛(LOVE)と夢(DREAM)と勇気(BRAVE)をテーマにし、本当に安全で、安心して利用でき、お母さん同士、子ども同士の出会いがあり、コミュニケーションも生まれるような場所として、「遊キッズ愛ランド」を企画しました。また、子ども同士のコミュニケーションでは想像力があれば言葉は関係ありません。ですから、国や

宗教、政治といった壁を越えて、世界中の子どもたちがコミュニケーションできる場の提供を目指しています。

「遊具の開発も自社で手がけられているそうですね。」

**越智** 企画、設計、製作、すべて自社工場で行っています。自分自身の夢の実現ですから既存の商品を使うとか、他社に製作を任せるということは考えられません。施設展開の予定もないまま遊具の自社工場を設立し商品開発を進め、全商品の特許出願費用だけで毎年1500万円くらい使ってきました。他社に真似されないための投資だったのですが、いまではオンラインワンとして、世界の優良企業にも認めていただいています。

「遊具の種類にはどのようなものがあるのでしょうか。」

**越智** すべての遊具に動きがあり、新しい遊具と常にローテーションできるシステムが特徴です。遊具は永遠に未完成で常に進化するという考えのもと現在の約30種類から毎年6〜10種類を発売し60種類以上が開発済みです。コミュニケーションを大事にしたいので、みんなで一緒に遊べるのが基本です。カラフルな風船が飛び交う「フワフワふうせん」や前後左右に動く「ダシンングジャングルジム」、360度ぐるぐる回転する「回転ドラムカン」



東京ベイホテル東急  
(東京ディズニーリゾートオフィシャルホテル)

など、同時に何人かの子どもたちが参加し、自由に動いて遊べるものを中心とします。2階建て構造になっているものもあるのですが、昔、親に肩車してもらったとき新たな発見をした子どもたちの視線を基準に考えたものです。

## 情報ネットワークを整備し 親同士のコミュニケーションづくりも

「遊具のみの販売はせず、事業者と共同で施設を開発する独自の事業システムを採っているということですが。」

**越智** 販売しないと決めているわけではないのですが、いいものをつくりたいので、共同事業という形で進めています。遊具を売ることではなく、子どもたちが楽しめる場を提供することが目的で、遊具はそのための演出装置の一つ、道具だと思っています。ですからその道具を正しく活用してほしいの



**かしのペン** 絵本を「かしのペン」でなぞるだけで  
絵本のキャラクターが動きだし、話しだし、歌いだす。



現在、全国10ヶ所の「遊キッズ愛ランド」モデル店舗でロケーションテスト中です。  
「かしのペン」おスキャナーは、株式会社サイエンス研究所のマルチメディアアクションロジックです。  
目に覚えにくいほどの微少なドットコード(点線)を絵本に印刷し、「かしのペン」で読みとるでマルチメディアとインターネットアクセスします。

単純に読むのではなく、「話し、聞かせる」ことで読み手の感覚を利用する新しいシステムです。  
「かしのペン」はアナログの世界にある印刷物をデジタル世界の情報メディアと融合し、リアルタイムに通信網に接続し、聴覚を利用するコミュニケーションツールへ変換される新しい仕組みです。  
おしゃべり絵本やゲームなどエンターテインメント分野に幅広く応用。



です。作り手、売り手としての責任がありますし、遊具だけ売って、それが数年後にほかの事業者者に転売されてどのような使い方をされるかわからないというのが一番困る。そのため、本当に信頼できるパートナーを選びたい。ただ販売もしています。

越智 はい、従来の絵本を進化させたようなもので「かしのペン」といいます。絵本に微少なドットコードが印刷してあり、それを専用のおスキャナーでなぞると絵柄などの情報を自動的に読み取って、目の前の

モニターに映し出される仕組みです。音声も出るので、話し、聞かせることで知覚の発達を促進します。現在一部の店舗でロケーションテストを実施しており、間もなく本格展開できると思います。

——ITを活用した電子絵本など、知育玩具の開発もすすめていらつしやいますね。

越智 はい、従来の絵本を進化させたようなもので「かしのペン」といいます。絵本に微少なドットコードが印刷してあり、それを専用のおスキャナーでなぞると絵柄などの情報を自動的に読み取って、目の前の

——お母さん向けの情報サービスの展開も検討中とのことですが。

越智 子育てがはじめてというお母さんが、何かあったときにどこに相談に行けばいいか、困ったときに頼れるネットワークがあれば安心ですよ。ですから、「遊キッズ愛ランド」を中心にしたネットワークをつくり、保育園や病院などの情報網を整備しようと考えています。お母さん自身に情報を提供してもらい、それをもとにわれわれがコンテンツを制作・提供していくという、参加型のネットワークにしたいと思っています。また、今後は私どもの事業に対して、親御さんに投資してもらおうという考え

——最後に、越智社長が目指すものについてお聞かせください。

越智 子ども向けの事業にもいろいろなブームがありますが、ブームとはい



上/キャナルシティ博多  
下/マリナシティ福岡

——最後に、越智社長が目指すものについてお聞かせください。

越智 子ども向けの事業にもいろいろなブームがありますが、ブームとはい

——お母さん向けの情報サービスの展開も検討中とのことですが。

越智 子育てがはじめてというお母さんが、何かあったときにどこに相談に行けばいいか、困ったときに頼れるネットワークがあれば安心ですよ。ですから、「遊キッズ愛ランド」を中心にしたネットワークをつくり、保育園や病院などの情報網を整備しようと考えています。お母さん自身に情報を提供してもらい、それをもとにわれわれがコンテンツを制作・提供していくという、参加型のネットワークにしたいと思っています。また、今後は私どもの事業に対して、親御さんに投資してもらおうという考え

——最後に、越智社長が目指すものについてお聞かせください。

越智 子ども向けの事業にもいろいろなブームがありますが、ブームとはい

**会社概要**

- 企業名 / BLDオリエンタル株式会社
- 所在地 / 大阪府泉佐野市りんくう往来南5-4
- tel.0724-69-0689 fax.0724-69-6396
- 資本金 / 2,000万円 (2006年5月9,000万円に増資)
- 設立 / 2001年2月
- 代表者 / 代表取締役社長 越智やすし
- 事業内容
  - ・ 遊戯機器の開発、製造、販売およびリース
  - ・ 遊園地施設の企画、設計および遊園地の経営
  - ・ インターネットシステムによる経営コンサルティングおよびソフトウェアの開発
- URL / <http://www.bldoriental.com/>

ずれ去るもので、将来に残ることはありません。しかし、私どもでは一時のブームではなく、100年後にも残るものをつくっていかつたりです。いまの子どもたちが親になったときに自分の子どもを連れてくる。そして、子どもだけでなく親も一緒にワクワクできる施設にしたいですね。山登りにたえれば、やつと一目にたどり着いたくらいですが、大人が、夢に向かって、一所懸命になっている姿を見せることは大事だと思っています。子どもは親の背中を見て育つというように、夢のない親の背中を見ていたら、夢のある子どもは育ちません。いつか親になる子どもたちに、大きな夢と希望と愛を感じてもらい、将来、自分の子どもに誇らしげに背中を見せられるような大人になつてほしいと思っています。

——ありがとうございます。